

ひろげる

expand

つなぐ

join

かえる

change

8

2011

2011年7月25日発行
通巻152号

コラム

市民活動の責任

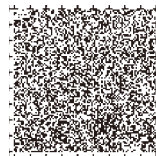
速水林業経営 速水 亨

NPO物語 Vol.28

特定非営利活動法人 伊賀・島ヶ原おかみさんの会

代表理事 穂積 澄子

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



「新しい公共」「第3の公」とか言われて、市民活動の中で公的な役割の一部を担う組織の存在が認められ始めている。それには二つの意味がある。一つには行政組織の肥大化により、市民の生活実感と施策がかい離しているところを埋めるインタープリター（通訳）としての役割だ。もう一つは国も県も市町村も財政的には極めて厳しく、公がすべき事業と公がした方が良い事業に分けるとすれば、既に後者を実行すべきでない時代に来ており、そこを埋めるのは、市民活動であったり、純民間の事業活動であったりする。

今は下火になったが、一時期、第三セクターという組織を作ることが市町村などを中心に流行ったことがある。「Third Sector」という言葉は、海外では主にNPOを指す場合が多いが、日本では先にこの第三セクターが出来てしまった。市民活動と比べるとはるかに行政主導である。

行政は自らの周辺にOBを使って、社団法人や財団法人等、特殊法人を作った。三重県でも同じような組織は多くみられる。当初はコスト削減が目的であったが、いつの間にか既得権が生まれて、一昨年から事業仕分けでやり玉に上がったりしている。しかしこれも「Third Sector」なのである。

公共の息のかかった特殊法人、第三セクター、NPO等、実はこれらすべてが「Third Sector」である。つまりNPOも既得権化して行政にすり寄れば、市民活動として決して市民の立場に立つものでなくなる可能性があるということに注意しておかなければいけない。使う行政側からすれば、顔見知りで慣れていてそつなく何でもできるから積極的に利用してしまう。

そこで、これからの市民活動で、本当の意味で「Third Sector」の役割を果たすには、組織での意思の決定、幹部の選任のプロセスの公正さと透明性、お金の流れの透明性などが重視されてくる。

今後市民活動が、より活発化して三重県を元気にしてほしい。そのためには組織として果たすべき責任があることをしっかりと意識していかなければならない。

助成金情報



まちづくり



環境



市民活動



国際



子ども

まちづくり

第9回日本都市計画家協会賞

受付期間 8月20日(土)

対象団体 まちづくり活動の分野や活動団体の形態(住民組織、任意団体、NPO法人、社会的企業、公共団体、大学や学校等)は問いませんが、地域の住民が参加していることが条件。

過去に本賞を受賞した団体、他のまちづくりに関する全国的な賞を受賞した団体は応募不可。

対象活動 都市や地域の現場に根ざした住民主体あるいは多様な主体の協働によるまちづくりの実践活動。

表彰 ①日本まちづくり大賞(1団体)
②優秀まちづくり賞(3団体)
③復興まちづくり部門賞(3団体)
④支部賞(5地域・各1団体)
※賞金総額50万円を予定

応募方法 HPからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入の上、Eメールまたは郵送にて提出。

※質問事項は文書(Eメール、Fax、郵送等)にて問い合わせ

問い合わせ (特活)日本都市計画家協会
〒105-0002 東京都港区愛宕1-1-9
愛宕チャンピオンビル4F
Tel 03-5401-3359 Fax 03-5401-3389

info@jsurp.net

HP <http://jsurp.net/xoops/modules/tinyd14/index.php?id=13>

環境

平成24年度 NFD one leaf fund

受付期間 8月31日(水) 当日消印有効

対象団体 下記の活動を行う団体・個人(日本フラワーデザイナー協会の会員・非会員は問わず)

対象活動 ①植物保護活動
日本古来の植物種、地域固有種、絶滅危惧種等の保護・増殖等に関する公益的な活動
②自然保護・環境保全・環境福祉の調査・研究
日本の希少植物種の保護や自然景観・環境保全・環境福祉への貢献度が期待できる調査・研究活動

助成金の額 総額400万円。1件あたり100万円を限度。

応募方法 下記の応募書類を簡易書留等の安全かつ正確な方法で送付。
①申請書類一式8部(正1部、写7部) ②団体概要パンフレット、事業パンフレット8部(正1部、写7部)
③過去3年の収支決算書8部(正1部、写7部) ④団体規約8部 ⑤役員名簿2部
※申請書類はHPからダウンロード、または協会宛てに請求
※封筒の表に「NFD one leaf fund 申請書 在中」と明記のこと

問い合わせ 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
〒108-8585 東京都港区高輪4-5-6
Tel 03-5420-8741(相川・梶原)

HP <http://www.nfd.or.jp/nfh09.htm>

市民活動

KDDI財団2011年度助成・援助 社会的・文化的諸活動助成

受付期間 9月1日(木)～9月16日(金) 必着

対象団体 NPO、NGO等。

対象活動 情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ

23年度 市民活動(支援)センター 情報交流学習会 相手を知るための3つのステージ！ ～よりよい協働のために～

NPOと行政との「協働」は10年経ったいまも、新たな担い手がとまどいを覚えつつ、それぞれの現場でさまざまな活動をしています。

例えばNPOには即応性があり、迅速に対応できる特性があります。一方、行政には公平・公正という考え方の規範があり、行政ゆえにできること、できないことのしぼりがあるなど大きな違いがあります。NPOスタッフも、行政職員も、よりよい協働のために、おたがいが相手の組織文化を学びませんか？

ステージ1

市民活動(支援)センター職員の方にオススメ！
「行政の組織文化を知ろう」

講師 若林千枝子さん
元三重県NPO室長
日時 2011年9月7日(水)
13:30～16:00

ステージ2

行政職員の方にオススメ！
「NPOの組織文化を知ろう」

講師 田部眞樹子さん
三重県子どもNPOサポートセンター理事長
日時 2011年9月30日(金)
13:30～16:00

ステージ3

ステージ1、ステージ2の集大成、
みんなで考えませんか？

2012年1月頃、講師をお招きし
「よりよい協働のために」を
テーマに学習会を予定

場所 みえ県民交流センター 交流スペース(アスト津3階) 参加費 無料・要予約 ※場所、参加費は、いずれも共通です。

申込み・お問い合わせ先

みえ市民活動ボランティアセンター 下記いずれかの方法で、氏名、ご所属など必要事項をお知らせください。

Tel 059-222-5995 Fax 059-222-5971

✉ center@mienpo.net HP http://www.mienpo.net/center/

地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など(たとえば、イベント、講演会、ボランティア活動)。

- 助成金の額 1件あたり100万円まで、10件程度。
応募方法 申込書は以下の通り2部作成し提出。
1部：電子媒体(エクセルシートをメール添付、要パスワード設定、押印不要)
1部：署名、捺印のうえ郵送(宅配可)
問い合わせ先 財団法人KDDI財団 助成業務部
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8
文京グリーンコートセンターオフィス7階
✉ grant@kddi-foundation.or.jp
HP http://www.kddi-foundation.or.jp/support/social/



国際

第5回かめのり賞募集

- 受付期間 9月9日(金) 必着
対象団体 5年以上の活動歴を持ち、下記の活動に携わるNPO(非営利団体)、ボランティアグループ、個人。
対象活動 ①国際交流・協力に係わる活動
②多文化共生に係わる活動
③国際貢献に携わる人材を育成する活動
助成金の額 正賞の記念の楯および副賞として50万円の活動奨励金を贈呈、10件まで。
応募方法 HPから応募用紙と推薦書をダウンロードし必要事項を記入、活動報告書・今年度の事業計画書など指定の書類と併せて送付。※詳細はHP参照
問い合わせ先 かめのり財団 「かめのり賞」係
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-4

共立麹町ビル103号室
Tel 03-3234-1694 Fax 03-3234-1603

✉ info@kamenori.jp
HP http://www.kamenori.jp/kamenorishou.html



子ども

未来を築く子育てプロジェクト・子育て支援活動の表彰

- 受付期間 9月30日(金) 必着
対象団体 より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体(規模は不問)
①子育て支援に資する諸活動を継続的に行っていること
②活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること
③活動の公表を了承していただけること
④日本国内で活動していること
表彰 ◎未来賞…表彰状、副賞50万円(10組程度)
◎未来大賞(未来賞受賞者から3組選ばれます)
…表彰状、副賞50万円(総額100万円)
未来大賞受賞者の各1組に以下の表彰状を授与
・内閣府特命担当大臣(少子化対策)賞
・厚生労働大臣賞
・文部科学大臣賞(予定)
応募方法 HPから応募用紙・必要資料をダウンロードし必要事項を記入、その他指定の資料と併せて送付。
※詳細はHP参照
問い合わせ先 住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」事務局W係
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-14-7 光ビル
Tel 03-3265-2283
HP http://www.sumitomolife.co.jp/child/child_care/bosyu.html

✉ E-mail HP ホームページ

NPO から寄せられた募集とご案内

地球の上に生きる 2011

DAYSJAPAN フォトジャーナリズム写真展 in 三重

『DAYSJAPAN』が世界中から公募する報道写真展。5000点を超える応募作品の中から授賞した約60点の他、好評の「びっくり動物シリーズ」も展示。(併設展示)

「チェルノブイリの25年とフクシマ原発震災」

MONGOL『こんな美しい大地に核処理施設を作るの?』

日時 7月28日(木)～8月2日(火)
10:00～19:00
(最終日は16:00まで)

場所 津センターパレス地下 市民交流館

参加費 無料

主催 DAYSJAPAN フォトジャーナリズム写真展 in 三重 実行委員会

問い合わせ先 Tel 059-229-3078
090-1239-1410(事務局:宮西)

メール syashinten@za.ztv.ne.jp

HP <http://www.za.ztv.ne.jp/syashinten/>

若者たちのトークライブ

「どないすんねん!この地球」

「本当に平和な世の中って訪れるのだろうか」、この問題だらけの地球を引き継ぐ世代として何をしていけばいいのか、一緒に話しませんか?参加資格も堅苦しい心構えも不要。隣のギャラリーで開催されているDAYSJAPAN写真展をみてぜひご参加ください。

日時 7月30日(土) 13:30～15:30

場所 津センターパレス地下ギャラリー

対象 10代(高校生以上)～30代の方

参加費 無料 ※申込不要

主催 DAYSJAPAN フォトジャーナリズム写真展 in 三重 実行委員会

問い合わせ先 Tel 090-7085-4090(徳王)

メール walkslowly.nt@gj8.so-net.ne.jp

命と平和のメッセージ

「紙芝居と絵本の世界へようこそ!」

紙芝居と絵本は車の両輪のように、私たちにメッセージを運んでくれます。この二つの素晴らしい世界を通して、震災が起きた今年だからこそ、広島原爆投下の日だからこそ、命と平和につい

て改めて考えてみませんか。

内容 ・「良い本の選び方」のミニミニ講座(たんぼぼ読書会)
・紙芝居と絵本の読み語り(紙芝居ピッコの会、陽だまり文庫)
・パパの絵本の読み聞かせ(パパナビ)

日時 8月6日(土) 13:30～16:00

場所 みえ県民交流センター(イベント情報コーナー) アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

対象 どなたでも

参加費 200円 ※要申し込み

主催 みえNPOセンター・ワーカーズコープ

問い合わせ先 Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971

(田中、安村)

メール center@mienpo.net

HP <http://www.mienpo.net/center/>

親子で地球環境のこと一緒に考えませんか?

親子でエネルギーの大切さを体感しよう!

・電気はどうやって作られるの??貯めておくことはできるのかな??

・電気を大切に使うことは、なぜ必要なんだろう??

・省エネ、節電ってどうすればいいの??

・できるかな?工作にも挑戦!!

日時 8月6日(土) 13:00～15:00

場所 津市民エコ活動センター(津市片田田中町1304 津市西部クリーンセンター内)

対象 小学校4～6年生のお子様と保護者の方のペア

講師 中部電力株式会社 津営業所

参加費 無料

募集人数 20組(先着順)

応募方法 電話にて①氏名(親子)、②お子様の学年を連絡

主催 津市市民エコ活動センター

問い合わせ先 Tel 059-237-1185

(10:00～16:00 毎週月曜&火曜日休館)

みえで仲間を作り隊!

三重県内へ避難された方の座談会参加者募集

東日本大震災により三重県内へ避難された東北・関東のみなさま、みえで仲間を

つくりませんか。みえ災害ボランティア支援センターでは、三重県内へ避難された方同士の交流の場(座談会)を開催します。

第2回(第1回は7月18日(月・祝)開催済)

日時 8月7日(日) 13:30～16:00

場所 神宮会館 第1会議室(伊勢市宇治中之切町152番地)

応募締切 8月5日(金) 17:00

第3回

日時 8月27日(土)
10:00～12:00まで(予定)

場所 鈴鹿サーキット内施設
※詳細はHP参照

参加費 無料

対象 東日本大震災により、三重県内へ避難されて来られた方々
応募方法 電話またはFaxで申し込み。
※Faxの場合はHPに掲載の募集チラシを使用。

問い合わせ先 みえ災害ボランティア支援センター事務局

〒514-0009 津市羽所町700

アスト津3階 みえ県民交流センター内

Tel 059-226-6916

Fax 059-226-6918

HP <http://mvsc.jp/2011/07/13/2154/>

CSRの基礎知識～社内起業家のなり方まで

企業の社会貢献担当者に向けた“CSR推進サポート講座”開講!

地域のCSR意識の向上を目指し、三重県の企業内担当者へ向けたCSR推進サポート講座(2講座、各5回)を開催します。内容は、CSRの基礎知識、CSR報告書の作り方、企業内から社会問題を解決していく社内起業家(ソーシャルイントラプレナー)のなり方など。詳細はHPをご覧ください。

◆第1回 CSR基礎講座

日時 8月22日(月) 19:00～21:00

講師 フルハシ環境総合研究所

代表取締役/浅井豊司氏

◆第1回ソーシャルイントラプレナー講座

日時 9月9日(金) 19:00～21:00

講師 GIFT-JAPAN/玉沖貴子氏

場所 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階)

対象 三重県内企業のCSR(社会貢献)担当者または広報担当者、県内各地の商工会議所、商工会の職員など

参加費 1回につき2000円 ※要申し込み

主催 (特活) Mブリッジ

問い合わせ Tel 0598-23-8400 (中川)
Fax 0598-23-8488
E-mail csr@tsutaetai.jp
HP http://tsutaetai.jp/

あなたのやる気・スキルを活かしませんか 高齢者のパソコンボランティア養成講座

Word、Excelを中心に高齢者のパソコンボランティアをするための基礎知識を身につけます。

日時 8月から第4木曜開催で全6回の講座。
第1回
8月25日(木)13:00～15:00
場所 桑名市総合福祉会館
対象 高齢者のパソコンボランティアをしたい方
参加費 100円(資料代)
応募方法 電話で申し込み
主催 くわなPCネット
問い合わせ Tel 090-8868-8627(児玉)

平成23年度男性講座

イクメン応援フェア2011

楽しみながら目指そう!育-MEN!
えほんうた・遊ぶうたライブや、三重県のイクメングループがワークショップを開催します。

日時 8月28日(日)10:00～15:30頃
場所 三重県文化会館2階
第2ギャラリー
対象 ご家族みなさま(このフェアは、小さなお子さまと一緒にご参加いただけます)
内容 1.～あの名作絵本の物語をメロディーにのせて～
心あたたまる♪えほんうた・遊ぶうたライブ♪
西村直人さん(NPO えほんうた・あそびうた代表)
(11:00～、14:30～ 2回公演)
※事前申込制
2.イクメン応援ワークショップ
1回目 10:30～
2回目 13:00～
3回目 13:45～
A:「家事場のパパデカラ」
～パパと子どもでクルクルボール作り～
(by ファザーリング・ジャパン東海)
B:「とべ!かみひこーき」
～自然の形を折り紙へ～
(by ちょいワルおやじの会)
C:「子どものあそび場 パパのしゃべり場」
(by Happyよかパパ)

※詳細はHP参照

参加費 無料
応募方法 HPから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、メール、郵送、Fax、持参にて申込み
※お申し込みは1家族につき1回。
申込多数の場合は抽選となります。
応募締切 8月7日(日)当日消印有効
主催 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
問い合わせ Tel 059-233-1130
Fax 059-233-1135
E-mail frente@center-mie.or.jp
HP http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyoku/H23/013ikumen.html

初心者・高齢の方対象

パソコン無料相談会

パソコンを使っていてうまくいかないことを解決するためのアドバイス、これからパソコンを利用しようと考えている方へのアドバイスを行います。相談時間は一人20分程度を予定。質問の内容によっては対応できないこともありますので、予めご了承ください。また、参加者多数の場合はお待ちいただくこともあります。
※修理、設定等ご希望の方は後日、有償対応。

日時 ①9月4日(日)9:30～11:30
②9月17日(土)9:30～11:30
場所 ①ジェフェリーすずか
②なやプラザ
対象 パソコンのことで困っている初心者の方、高齢者の方
参加費 無料 ※申込不要
主催 (特活)MLS みえ生涯学習支援室
問い合わせ Tel 059-392-5355(小野)
Fax 059-347-5100
E-mail npo-mls@live.jp
HP http://npomls.web.fc2.com/

外国人への日本語の教え方を学ぶ

「にほんご指導ボランティア養成

講座(基礎編)

日時 9月10日(土)～11月5日(土)
(9月24日を除く) 毎回土曜日
全8回(計25時間)
第1回
9月10日(土)9:50～12:30
場所 ゆめぼりすセンター
(伊賀市ゆめが丘1-1-4)
講師 船見和秀さん
(国際交流センター日本語教師
養成講座 講師)
対象 外国人への日本語支援や交流に関心のある人
日本語教育に関心のある人
参加費 無料(ボランティア保険料 230円)
募集人数 16名(定員になり次第締切)
応募方法 氏名・住所・連絡先を明記し申し込み
主催 (特活)ユニバーサルデザイン同夢
問い合わせ Tel & Fax 0595-23-9513(孫)
E-mail son@doumu.net
HP http://www.doumu.net

E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!
掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。
(1)フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
(2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。
<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.28

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。

村づくりは人づくり

特定非営利活動法人 伊賀・島ヶ原おかみさんの会
代表理事 穂積 澄子

島ヶ原をこのままにしておけない!

特定非営利活動法人 伊賀・島ヶ原おかみさんの会の
創立の経緯とミッションについてお聞かせください。

ちょうど、松尾芭蕉さんの生誕360年祭のときに設立したんです。なぜかという、その頃から伊賀市の中で、市町村合併ということをお口にするようになってね。「島ヶ原ってどこにあんの、島ヶ原って知らんわ」という言葉をきくことがありました。

そういうことを言われたから「なにくそ」と思ってね。こんなに自然豊かな島ヶ原をそのままほっといたら大変なことになる。私たちが一丸となって、何かを発信していかなくてはいけない!このままいったら「島ヶ原は知らんわ」で終わってしまう!と思いました。

この島ヶ原の美しい自然やいろんな文化を残していきたいし、皆に知ってもらいたいと思って、この島ヶ原で同じ思いを持った仲間に話しかけて、私たち地域の女性がみんなで力を合わせて、この島ヶ原の自然や歴史・文化を残して伝えていこうよ!と言って始めたのが「伊賀・島ヶ原おかみさんの会」でした。

他の市町村のたくさんの友達にも応援してもらいました。そして、皆が今もずっと応援してくれて、支えてくれて今日まできているんです。それも地域の方々、お友達、子どもたちの支え、そして今はここへ来るお客さんに支えられて、現在、毎日皆が生き生き元気でやっています。

こだわりとおもてなしの心

活動の内容と工夫していらっしゃることは?

この四季の移り変わりの自然を皆さんに観てもらい、知ってもらう。そして春夏秋冬、ここを訪れて頂けるリピーターが増えたらいいなということを私たちは考えています。島ヶ原の美しい自然や歴史文化を観てもらって、その中で、JR 島ヶ原駅の改札を下りてすぐのこの店「夢の道」で、お客様に食を提供しています。

料理は「食べて頂いて美味しい地産地消」をモットーに、「旬の味は旬の味で」ということで手づくりでつくっています。

朝、8時半に来たら、一番先に材料見て、ほんなら今日はこれとこれで、こうしようかと皆で相談して、お客さんに料理を提供するんです。それが私たちのこだわっている安心安全ということ。おもに、島ヶ原で無農薬で作って、栽培のほうも自分たちの手でするようにしています。

やっぱり「心」が大事。心と心、人と人との出会いを繋げていくのは「心」ですね。おもてなしの心が大切だと思っています。



地場産・旬の味にこだわった「おかみさん御膳」

役割分担は「ひとり一役」

スタッフの役割分担はどのようにされているんですか？

おかみさんの会は九つの分科会に分かれています。それで「役割分担は、皆がひとり一役」というのが私の口癖なんです。「ひとり一役、女性生き生き元気、おもてなしの心を大切にしながら、一人一役同じ汗を流しましょう」ということで始まったグループなんです。

現在「紙芝居班」「イベント班」、毎日お料理を作る「まめまめ工房班」「景観美化班」「もの作り班」「じゃがもち班」「ケーキ班」、それから「山菜研究班」「企画広報班」に分かれています。

地域の子どもたちとの交流

地域に直接出向くこともあるとお聞きしましたが、例えば？

例えば、小学校の食育の授業に参加させてもらって、子どもたちの料理のサポートをしています。「夢の道」でお出ししている「おかみさん御膳」というメニューを参考に、子どもたちのアイデアを集めた「島っ子定食」というメニューを考えてくれる機会がありました。そのメニューを実際に調理する授業へ私たちが駆け付け「味付けが辛いな、もうちょっと…」と一緒に相談しながら完成しました。

ある時、その後のお礼状がきて「自分もおかみさんのように、地域のリーダーでいきたい」と書いてくれた子がいました。島ヶ原の子どもたちがそういう気持ちになってくれたということは、私たちが何らかのお役に立たせてもらえたのかなあと考えると、涙がでるほど嬉しいですね。



島ヶ原小学校 5 年生との交流

次世代に引き継がれていくもの

継続したまちおこしをするために大切にされていることは？

「村づくりは人づくり」だと思います。私たちは皆、年を重ねていく。年を重ねていく中で、次の世代に島ヶ原の魅力を伝えていきたい。そして、また次の世代の子がその次の世代の子に引き継いでいく。

やっぱり、若い人を育てやなあかんということは常々思いますね。ここ島ヶ原には、いろんな知恵があります。昔から、おふくろさんとかおばあちゃんの知恵とか、そういう知恵をいっぱい皆が持っていてくれる。そういう知恵を今度は若い子に伝える。それでまた、次の世代の子に伝えていく。そういう知恵をこれからいろいろ残していきたいなと思っています。

第二のふるさとと次のステップ

将来展望はどのようにお考えですか？

おかみさんの会を、第二のふるさとと思ってもらいたい。「夢の道」の隣の穂積製材所で、関西や中部圏の学生さんたちが木工体験が出来るプロジェクト活動「穂積製材所プロジェクト」を頑張ってくれています。その若者たちが卒業して都会に出ていってからも「ただいま」といつでもまた戻ってきたくなる第二のふるさとのような場所に「夢の道」をしたいんですよ。それが私の望み。

実際に、「家に帰るより先にここ」といつてくれる若者も多いんですよ。そういう人たちが増えるようなことをこれからもっと考えていかなあかん。それが次のステップです。今度はその子たちがここをしょって立てるような場所にしていかないかなと思っています。自分たちの後ろ姿を若い子は見ているから「おかみさんら、島ヶ原のために頑張っているんやな。僕たちも見習ってなんかしやな!」と思ってもらう。若い子は若い子のやり方で展開して、この島ヶ原が元気になればいいなと考えています。

真の地域づくりを目指して

おかみさんにとっての理想のまちおこしとは？

老いも若きも男女共に、まちおこしを展開していく。それが私たちの夢でもあるんです。

やっぱりそりゃまあ、補助金もいただきたいです。お金はのどから手が出るほど欲しいけど、こんなご時世ですからね。それよりも、皆で何とかしていけたらいい。震災の復興活動みたいに頑張っていかな出来へんのやから、そうしていったほうがいいかなと思いますね。何でも、お金もらってするんじゃないくてね。そういうことしていかな、真の地域づくり、まちづくりは出来へんかなということを実感しています。そうしていくことによって夢もまた膨らんでいきますね。



県内外の延べ 400 人で賑わった「オーキニ祭り」

【データ】

〒 519-1711 伊賀市島ヶ原 5844 番地
T E L 0595-59-2024
E - m a i l iga-okamisan05@ict.jp
ホームページ http://www.ict.ne.jp/users/iga-okamisan05/
代表者 代表理事 穂積 澄子
団体設立年月日 2003 年 2 月 1 日
NPO法人化年月日 2005 年 10 月 7 日
会 員 数 約 60 人

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

新寄付税制の成立

～これから求められるもの～

2011年6月22日、以前から本欄でとりあげてきた寄付税制の改正がついに実現し、新寄付税制が成立した。

今回の新寄付税制の中のひとつに、認定NPO法人格の認定要件に「寄付金の額が3千円以上である寄付者の数が年間で100人以上」が新しい認定要件として導入された。

従来、認定NPO法人をとるための認定要件が厳しく、認定NPO法人は全国でも200余りしかなかったことを考えると各段にとりやすくなったといえるだろう。

これからNPOが公共を担っていくためにも、日本に寄付文化が定着することを期待したい。「新しい公共」をすすめていく上で、NPOは地域の発展に欠かせない存在であるということをも認めてきているのだから。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時 9月22日(木) 13:30～16:00(予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は?職員を雇うときの手続きは?助成金をとりたいけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対象 NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 (1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00
今後の予定

8月2日(火)、9月6日(火)

場所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 NPO法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから相談に応じて

問い合わせ みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

◆「ボランティアコーディネーター白書 2010-2012版」

特集：日本のボランティア・市民活動センターは、今後どうなるのか?

編集：日本ボランティアコーディネーター協会
発行：社会福祉法人大阪ボランティア協会
発行日：2011年2月21日

◆「NPO運営対策 便利屋マニュアル」

労務管理／税務と経理／法人設立
NPO 便利屋推進委員会 発行人：山田千代子
発行所：NPO法人長野県 NPO センター
発行日：2011年3月30日

◆「東アジアのCSR」

～国連グローバル・コンパクトの新たなチャレンジ～
編著：江橋 崇 発行所：法政大学現代法研究所
発行日：2011年3月22日

認証した特定非営利活動法人

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ①三重耐震マイスター倶楽部
- ②津市高茶屋小森上野町2793番地の8
- ③まちづくり、環境、消費者、その他
- ④2011年6月27日
- ⑤理事長 斎藤 弘郎

- ①いこいの森
- ②志摩市阿児町国府2967番地1
- ③保健、まちづくり、環境、地域安全、子ども、経済活動、職業能力、消費者、その他
- ④2011年7月7日
- ⑤理事長 山本 清

- ①おとのお
- ②四日市市安島2丁目3番地32
- ③社会教育、まちづくり、文化、人権、国際、男女、子ども、情報化社会、経済活動、職業能力、その他
- ④2011年7月7日
- ⑤理事長 池田 太郎

- ①新どんぐりの家
- ②鈴鹿市神戸三丁目10番17号
- ③保健、まちづくり、人権
- ④2011年7月7日
- ⑤理事長 長井 敏枝

(2011年6月10日～2011年7月9日認証分)

「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細5ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市 みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

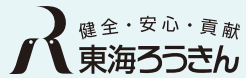
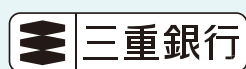
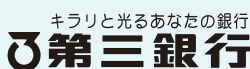
【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) /三重県栄町庁舎(情報公開窓口) /三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。